

1 情報教育部会の活動

【第1回情報教育主任会】

- (1) 日時 平成28年4月13日(水)
- (2) 場所 四国中央市立三島東中学校
- (3) 内容
 - ① 平成28年度役員選出
 - ② 本年度の研究主題、研修計画の決定
 - ③ 各校での取組の共有

【第2回情報教育主任会】

- (1) 日時 平成28年4月27日(水)
- (2) 場所 四国中央市福祉会館
- (3) 内容
 - ① 一体型電子黒板の導入機種選定
 - ② 基本的な操作方法についての研修
 - ③ 質疑応答

2 ICT研修会(書画カメラ活用)の実施

- (1) 日時 平成28年12月26日(月)
- (2) 場所 四国中央市立川之江小学校
- (3) 内容
 - ① 講演「書画カメラの効果的な活用法」
講師 株式会社エルモ社 國枝沙貴様
 - ② 模擬授業構築実習



本研修会では、小中学校の普通教育環境でICT機器を日常的に活用していくために、書画カメラ「みエルモン」の接続から基本的な使い方、応用、授業での活用ポイントを紹介していただいた。

3 ICT機器(一体型電子黒板)の導入と活用

四国中央市では「授業改善のための10のポイント」を掲げ、すべての児童生徒が楽しく分かる「授業のユニバーサルデザイン化」を推進している。その一環として、昨年度は推進モデル校に、今年度はモデル校以外のすべての小学校6年生の普通教室に「一体型電子黒板」が設置された。昨年度より使用していた社会科に加えて算数科のデジタル教科書が使用できるようになったこと、様々なWebコンテンツを準備に時間をかけずに手軽に視聴できること、付属の書画カメラで児童のノートや作品をすぐに拡大表示できること等により、授業の展開がスムーズになった。また、児童の学習意欲の持続・向上や理解の促進にも役立っている。

4 成果と課題

一体型電子黒板が導入されたことにより、各校でICT機器を活用した授業を積極的に実践していることが市の交流研修会等で報告されている。しかし、残念ながら実践事例を共有するシステムが完成していないのが実情である。学習効果を上げるためのICT機器の活用方法についての研修を積み重ねることと並行して、学校グループウェア等を活用した実践事例の共有化についても検討していく必要がある。また、四国中央市は他市に比べて情報機器の整備が遅れているが、2020年度より導入される「プログラミング教育」に対応できるよう、機器の整備や指導者の育成および研修を計画的に実施していかなければならない。